

2-2-2 第2分科会「教材としての『FIFA ワールドカップ南アフリカ大会』」

担当者 伊藤恵造 受講学生 19名

活動概要： 日本国内のみならず世界中の人々を「熱狂」させた「FIFA ワールドカップ南アフリカ大会」を教材として取り上げ、文化、歴史、経済、環境、人種差別、地域間格差など、さまざまなテーマについてグループワークを通して学習しました。最終的には、体験した学習活動を踏まえて、独自の学習プログラムを作成し、それを実際に行ないました。

活動風景：





受講学生の感想（受講生の受講カードより抽出）

- 今日は最初の分科会でした。自己紹介をしたのですが、みんなユーモアに溢れていて、今後の活動が楽しくなりそうだなと期待しています。楽しい分科会にしたいので、これからよろしくお願いします。（11月4日の感想より）

- グループワークをしたが、世界のことを全然知らないという現状を知ることができた。サッカーのことや差別問題などの知識を身に付けていきたい。（11月11日の感想より）

- 世界的な大会のチームの条件を考えていたわけだが、この問題は日本の中でも、県の出身者割合に関する問題にとっても似ていると感じた。（11月25日の感想より）

- それぞれのグループの発表を聞いて、それぞれ違った工夫をしていてよかった。自分たちの発表はもっと内容の濃いものにできたはずなので、そこは反省すべき点だと思う。（1月20日の感想より）

- 今日は、来週の発表の準備をした。他のグループとの合同作業なので、上手く進まない場面もあったが、来週はいい発表が出来るように頑張りたい。（1月27日の感想より）